



- 1・4 米軍関係者は、日米の交通ルールの違いについて講義を受けた後、自動車学校のコースを利用して実車講習を受けた
- 2 安全に横断歩道を渡って通学する子供たち
- 3・5 自転車の事故防止活動に取り組む高水高等学校の生徒たち



7月11日～20日までの10日間、「横断歩道の歩行者優先の徹底」「自転車の交通ルール遵守と安全確保」「飲酒運転根絶などの安全運転意識の向上」などを重点目標として夏の交通安全県民運動が行われました。

期間中は、信号機のない横断歩道での事故を防止するために、手上げ横断を推奨するハンドサイン・キャンペーンや、米軍関係者が日米の交通ルールの違いを理解するためのセーフティ・ドライビング・スクールなどが

夏の交通安全県民運動

行われました。

また高水高等学校では、生徒が主体となり、通学中の生徒に自転車の安全利用と盗難防止のための鍵かけを呼び掛ける運動を行いました。

市は今後も、交通ルールの順守や正しい交通マナーの実践を啓発するとともに、事故の起こりにくい環境を整備するなど、交通事故防止に向けた取り組みを進めていきます。

☎(29)5018

固くらし安心安全課

交通事故のない街を目指して

市政 PICK-UP



横断歩道での歩行者優先は、運転者が絶対に守らなければならないルールの1つ

スマホをもっと身近に

市では今年度、高齢者スマホ活用支援事業を開始し、6月から市内各所でスマホ教室を開催しています。

この事業は、高齢者がスマホなどを活用して地域の情報を入手したり、人とつながりを広げたりすることで、社会とつながる新たな仕組みを作ることを目的としています。

実施する事業内容は、65歳以上の人を対象に市や協力店が開催したスマホ教室を受講した人が、初めてマイナンバーカード



教室の最初に、市が実施するLINEなどの行政デジタルサービスの説明を受けた

高齢者スマホ活用支援事業

対応型スマホを購入する場合に助成を受けることができるものです。

教室に参加した人は実際にスマホを使い、電源の入れ方や電話のかけ方、カメラの使い方などの操作を一人一人のペースに合わせて学ぶことができ、受講者からは「意外と簡単で安心した」との声が聞かれました。

今後、スマホ教室は令和5年2月まで市内各地域で開催する予定です。

関高齢者支援課 ☎(29)2588



カメラアプリを起動していない時に、以前撮影した写真や動画を見る方法などを確認した



なぞとき「江戸時代の町名について」の回答を見つけ、ヒントをもとに間違いがないかを確認した

100年後も残したい景観

8月7日、岩国供用会館で、「なぞとき古地図・景観まちあるき! 岩国城下町・岩国七町編」が行われ、10組の親子が参加しました。

このイベントは、市が景観まちづくりの事業を進める中で、景観は地域の共通財産であることとの理解を促進し、景観に対する意識の向上を図ることを目的に実施されたもので、3年ぶりの開催となりました。

イベントでは、岩国徴古館の学芸員から城下町の説明を受け

親子で楽しむ「なぞとき古地図 景観まちあるき!」

その後、江戸時代の古地図を片手に岩国城下町・岩国七町の町並みを散策しました。参加した親子は、歴史に関する謎解きを楽しみながら、かつての名残をとどめる建物や風景を発見し、100年後も残したいお気に入りの景観を写真に収めました。

市では、景観まちづくりを進めていくために今後もまちあるきのイベントなどを開催し、景観の価値や魅力発信に取り組めます。

関公園景観課 ☎(29)5162



岩国七町をまちあるきし、自分で見つけてきたお気に入りの景観を参加者で発表し合った